

R. ciliaris var. *pilosa* (Korshinsky) Kitagawa in Journ. Jap. Bot. 25: 44 (1950).
 Nom. Jap. Usuge-kamojigusa.
 Distr. Amur, Manchuria bor., Ussuri & Sachalin.

* * * * *

今回、本学の学生石渡静子君の助力を得て、大陸産のケカモジグサ (*Roegneria ciliaris* (Trinius) Nevski) とそれに近縁である日本産のアオカモジグサやタチカモジグサなどについて相互の比較研究を試みたが、その結果、苞穎や外花穎はもち論であるが、小舌と内花穎に判然とした相違点が見出されたので、ここに発表した。結局、日本産のものはケカモジグサとは別種として扱うのが最も穏当である。また、ウスゲカモジグサ (*R. amurensis* (Drobov) Nevski) も一時はケカモジグサの変種と考えたが、再検討したところ、形状がかなり異なり分布地域も限られているので、Nevski 氏や耿氏らの意見に従って独立種と見なすことにした。この種や済州島産のホソバタチカモジグサは日本には見られない。

○小林博士採集のアリュウシャン列島産のセン類 (野口 彰) Akira NOGUCHI: A list of mosses collected by Dr. Kobayasi in the Aleutian Islands

小林義雄博士は1931年の5月—8月の4か月にわたって、報知新聞社のアリュウシャン学術調査に参加し多くの植物を持ち帰えられた。そのうち種子植物 (佐竹1932, 秋山1933, 館脇・小林1934) と藻類 (岡村金太郎1932) については、すでにその結果が報告されている。同博士の採集品の中にはセン・タイ類も含まれていて、セン類はそのころ筆者に研究をゆだねられ、その研究結果の草稿ができていた。今までアリュウシャン列島のセン類調査はあまりできていず、Bartram (1938) のものがいくらかまとまっており、ほかに断片的なものに Cardot et. Thériot (1902, 1906), Frye et Clark (1946) などがあるにすぎない。アリュウシャン列島はなかなか採集に行けない所でもあり、分布の参考にもなるかと思われるので、あえて旧稿をもちとわず、手を加えてここに記録しておくことにする。

Atka 島 産

- Antipyretica curtispindula* (Hedw.) Brid. (5)
- Aulacomnium palustre* (Hedw.) Schwaegr. (1)
- Bartramia pomiformis* Hedw. (2)
- Calliergonella schreberi* (B. S. G.) Grout (1)

- **Desmethodon systylius* B. S. G. (2)
Drepanocladus uncinatus (Hedw.) Warnst. (1)
 **Eurhynchium praelongum* (Hedw.) B. S. G. (1) (det. Persson)
Fontinalis antipyretica Hedw. (1)
 **F. a.* var. *gigantea* (Sull.) Sull. (1)
Hylocomium splendens Hedw. (2)
Mnium flagellare Sull. et Lesq. (1)
M. insigne Mitt. (1)
M. pseudopunctatum B. S. G. (3)
Philonotis fontana (Hedw.) Brid. (2)
Pleuroziopsis ruthenica (Weinm.) Kindb. (2)
 **Pogonatum urnigerum* (Hedw.) Beauv. (1)
Polytrichum alpinum Hedw. (2)
 **P. a.* var. *septentrionale* (Röhl.) Brid. (3)
Rhacomitrium lanuginosum (Hedw.) Brid. (3)
Rhytidiadelphus loreus (Hedw.) Warnst. (2)
R. squarrosus (Hedw.) Warnst. (5)
R. triquetrus (Hedw.) Warnst. (1)
Sphagnum girgensohnii Russ. (1)
S. squarrosum Crome (1)
 **Tayloria splachnoides* (Schleich.) Hook. (1)
Ulota phyllantha Brid. (1) (det. Persson)

Unalaska 島 産

- Aulacomnium palustre* (Hedw.) Schwaegr. (1)
Sphagnum magellanicum Brid. (4)

* 印のものはアリウシャン列島からはじめて知られるもののようである。また括弧内の数字は標本の包数を示す。上記の種のうち *Drepanocladus uncinatus* は日本の高地などにある型とだいぶ違って別種の感じを抱かせるものである。すなわち体が大きく、茎や枝が波うち、葉は大きく、枝が少ない点からみると、var. *subjulaceus* (B.S.G.) Warnst. に似る型であるが、この採集品の葉の漸尖部は短いので十分に一致しない。小林博士の報告書（日本生物地理学会会報 5-2, fig. 19, 1934）に *Rhacomitrium lanuginosum* の特異な団塊状の群落の写真が示されている。採集品を提供された小林博士と、採集品の一部を同定またはチェックされた Dr. H. Persson にお礼を申し上げる。